

(10) ごみ・瓦礫

①ごみ収集等に関する対応

ごみについては、避難所で排出されたごみと、一般家庭からのごみに大別される。発災後、燃料が不足していたため収集車両が稼働できず、ごみが大量に発生する避難所であっても一時保管を強いられたが、燃料や収集車両の確保などにより、徐々に改善されていった。

一般家庭からのごみ収集については、燃料不足や原発事故の状況により3月14日からしばらくの間見合わせとなり、3月28日からようやく一部再開となった。

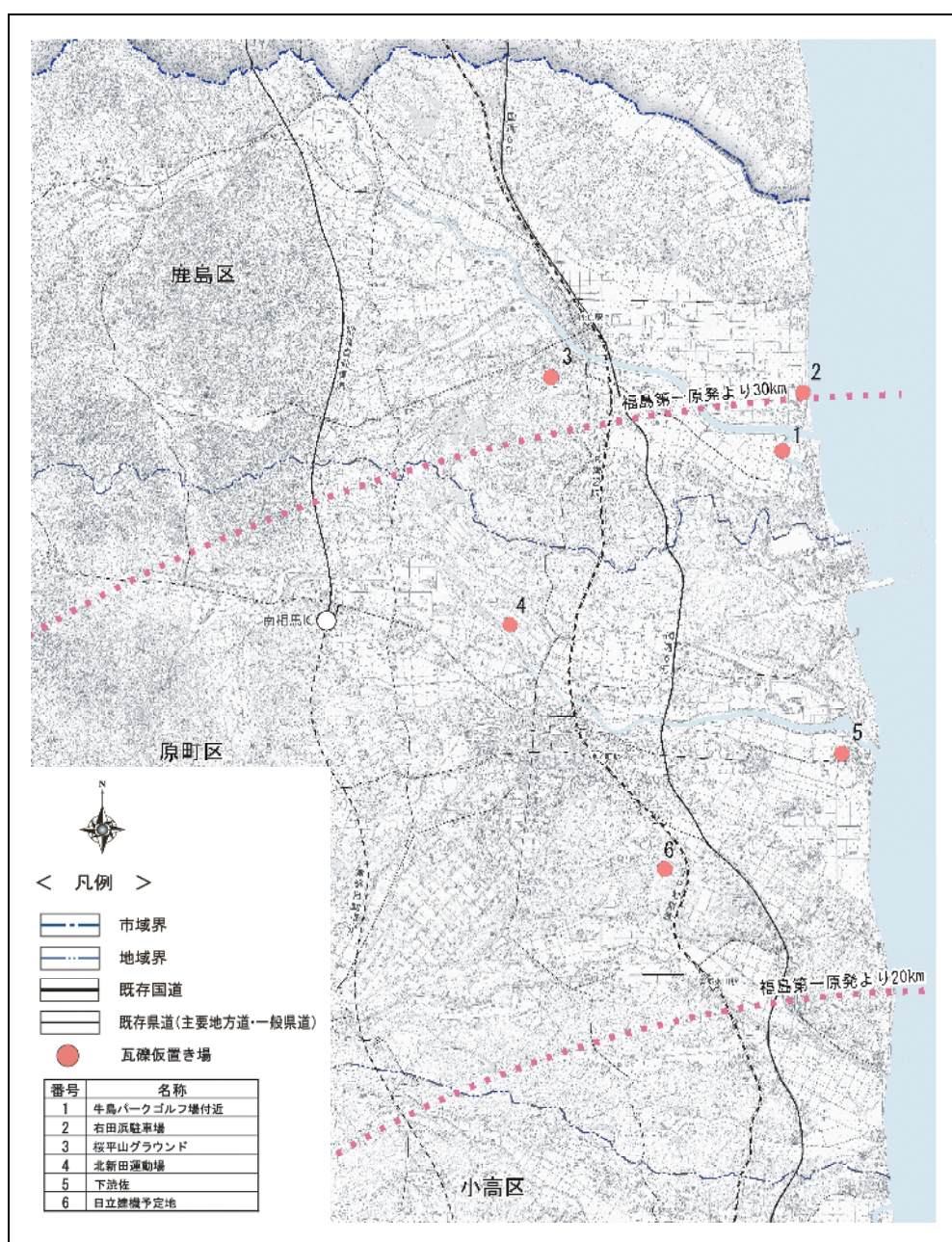
日時	内容
3月12日 14:56	「被災ごみ一時集積地」決定・連絡 ○小高区：東部グラウンド／片草グラウンド（テニスコート裏） ／西部グラウンド（避難者有り） ○鹿島区：千倉グラウンド／桜平山運動公園 ○原町区：北新田運動公園／日立建機予定地
13日 8:57	避難所ごみ処理のため、土木課パッカー車を鹿島区で借りたいとの依頼
9:03	【各避難所のごみ収集について】環境衛生課が、避難所からの「ごみ」は土木課からパッカー車を借用して収集することで調整 各避難所よりごみ袋の支給、および、ごみ収集の要望があがる 【各避難所のごみ収集について】3月14日から収集開始予定（委託業者）
14日 8:06	【ごみ処理体制について】 ○家庭ごみ収集⇒車両の燃料確保が困難なため、当面収集は見合わせ ○クリーン原町センターへの直接搬入は対応可能 ○災害ごみ（粗大ごみ、がれき類）⇒北新田運動場の仮置き場で受入開始⇒午後：水素爆発により受入中止
15日	屋内退避命令により、避難所のごみ収集中止
16日 19:19	【原町保健センター】ごみの回収依頼
18日 11:06	【原町保健センター】ごみの回収依頼（再依頼） 各避難所のごみ収集再開（直営）
21日 13:52	【鹿島保健センター】ごみ収集依頼
13:55	【市立総合病院】生ごみの収集依頼
23日	ごみ収集業者がボランティアで町中のごみを清掃
25日 20:50	【家庭ごみの収集について】 3月28日（月）から鹿島区・原町区の一部において再開 ○当分の間、「燃えるごみ」のみで週1回の収集 ○月・木曜日の収集地区は3月28日（月）に収集 ○火・金曜日の収集地区は3月29日（火）に収集
26日 9:58	広報：防災無線
4月3日 10:37	【ごみ収集情報】 ①家庭ごみの収集 11時防災無線予定【鹿島区は12:30、18:30】 ②災害ごみの受付開始 14時防災無線予定【原町区のみ】
11:49	家庭ごみの収集について広報
15:29	災害ごみの受け入れについて広報
4日	災害ごみの受け入れ再開（北新田運動場）

## ②瓦礫

平成 23 年 7 月時点において、南相馬市で瓦礫の仮置き場として使用していたのは、6 か所であった。

## ■瓦礫の仮置き場一覧

	名称	所在地
1	牛島パークゴルフ場	鹿島区烏崎字牛島
2	右田浜駐車場	鹿島区烏崎字牛島
3	桜平山グラウンド	鹿島区江垂字桜平
4	北新田運動場	原町区北新田字諏訪
5	下渋佐地区	原町区下渋佐字後川
6	日立建機予定地	原町区下太田字川内迫



■災害廃棄物仮置き場 位置図

## (11) 支援

### ①職員派遣自治体

市では、震災発生後の平成 23 年 3 月から平成 24 年度にかけ、全国の 51 の自治体から延べ 427 人の行政職員の応援派遣を受けた。

派遣職員は、物資の受け入れや受払い作業、応急仮設住宅等申請受付、放射線モニタリング調査、保健師業務、税務業務、復興計画の策定、除染等、あらゆる部署に配属され多様な業務携わり、南相馬市の支援にあたった。派遣期間も数日での入れ替え、週単位での入れ替え、数ヶ月あるいは年単位の中長期などさまざまであり、中には無期限派遣の職員もあった。



杉並区派遣職員の方々

### ■各自治体からの派遣職員延べ人数（平成 23 年 3 月～平成 24 年度）

（単位：人）

自治体名	人数	自治体名	人数	自治体名	人数	自治体名	人数
1 北海道名寄市	12	14 群馬県藤岡市	1	27 新潟県小千谷市	5	40 京都府京田辺市	1
2 青森県	7	15 群馬県富岡市	1	28 新潟県柏崎市	2	41 京都府長岡京市	1
3 福島県	34	16 栃木県佐野市	1	29 富山県南砺市	86	42 京都府向日市	1
4 群馬県	20	17 栃木県鹿沼市	1	30 石川県七尾市	3	43 京都府舞鶴市	1
5 群馬県みどり市	2	18 埼玉県所沢市	6	31 静岡県島田市	28	44 京都府福知山市	1
6 群馬県みなかみ町	1	19 埼玉県川口市	1	32 静岡県牧之原市	4	45 岡山県	2
7 群馬県伊勢崎市	1	20 東京都杉並区	121	33 愛知県	2	46 岡山県倉敷市	3
8 群馬県桐生市	1	21 東京都千代田区	3	34 愛知県知多市	6	47 島根県	3
9 群馬県渋川市	1	22 東京都日野市	1	35 岐阜県	2	48 山口県	4
10 群馬県昭和村	1	23 山梨県笛吹市	1	36 滋賀県	4	49 香川県	4
11 群馬県沼田市	1	24 新潟県燕市	6	37 滋賀県近江八幡市	1	50 愛媛県	3
12 群馬県榛東村	1	25 新潟県三条市	2	38 京都府	14	51 福岡県うきは市	1
13 群馬県太田市	1	26 新潟県糸魚川市	16	39 京都府亀岡市	1	合計	427

### ②自衛隊

3 月 11 日に陸上自衛隊福島駐屯地の第 44 普通科連隊員 65 人を皮切りに、陸上自衛隊新潟県高田駐屯地の部隊、陸上自衛隊第一空挺団などが続々と南相馬入りした。不明者の捜索のほか、自宅退避者の安否確認、瓦礫の撤去のほか、物資の運搬、炊き出し、仮設風呂の設置など、さまざまな支援を行った。



第一空挺団の活動状況

### ③警察（福島県警、他県警）

福島県警はもとより、警視庁、千葉、群馬、静岡、長野、奈良など全国の県警から多くの警察官が応援に入り、交通整理や捜索活動、避難所対応などを行った。



静岡県警による不明者の捜索

### ④ボランティア

市では、3 月 12 日からボランティアの受け入れ体制を整えた。福島第一原発の水素爆発事故や政府からの警戒区域指定などを受け、一時的にボランティアが不在となった時期はあったが、その後は継続的に参加されるボランティアが数十名ずつ滞在した。

活動内容は、避難所運営補助や物資の受け入れ、遺留物洗浄、学習指導など、多岐にわたった。



ボランティアセンター受付